

令和2年(2020)2月 入域観光客数概況

59万900人
対前年(H31)同月比 -181,300人、-23.5%
～2カ月連続前年同月実績を下回る～

入域状況

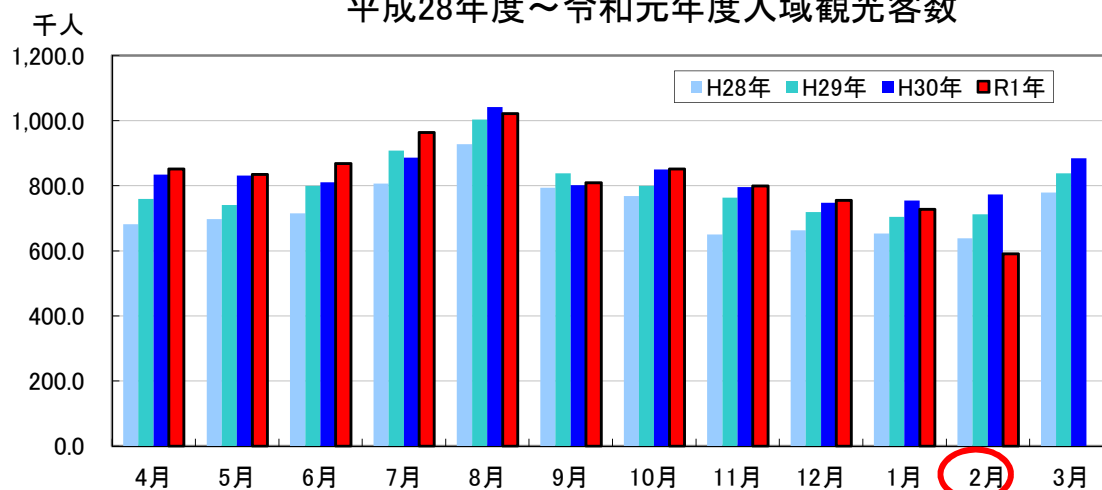
入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**含む**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	529,900人	532,100人	△ 2,200人	△ 0.4%	89.7%
外国客	61,000人	240,100人	△ 179,100人	△ 74.6%	10.3%
合計	590,900人	772,200人	△ 181,300人	△ 23.5%	100.0%

【参考】入域観光客数(平成30年度との比較) ※外国客については、乗務員等を**除く**

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
国内客	529,900人	532,100人	△ 2,200人	△ 0.4%	90.2%
外国客	57,500人	208,000人	△ 150,500人	△ 72.4%	9.8%
合計	587,400人	740,100人	△ 152,700人	△ 20.6%	100.0%

平成28年度～令和元年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きや国内クルーズ船の寄港が減少したこと等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による各種イベント自粛や旅行自粛の動きに加え、航空路線の減便やクルーズ船の運航停止等から、厳しい状況が予想される。

外国客 入域状況

2月は、新型コロナウイルス感染症の流行による航空路線の減便やクルーズ船の寄港回数の減少、訪日旅行自粛の動きが加速したこと等から、前年を大きく下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の流行による航空路線の減便やクルーズ船の運航停止、日本への渡航制限及び入国制限の拡大等から、更なる大幅な減少が予想される。

国内客 地域別入域状況

区分	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	252,800 人	253,800 人	△ 1,000人	△ 0.4%	47.7%
関西方面	106,000 人	101,300 人	+ 4,700人	+ 4.6%	20.0%
福岡方面	69,300 人	71,100 人	△ 1,800人	△ 2.5%	13.1%
名古屋	48,000 人	48,700 人	△ 700人	△ 1.4%	9.1%
その他	53,800 人	57,200 人	△ 3,400人	△ 5.9%	10.2%
合計	529,900 人	532,100 人	△ 2,200人	△ 0.4%	100.0%

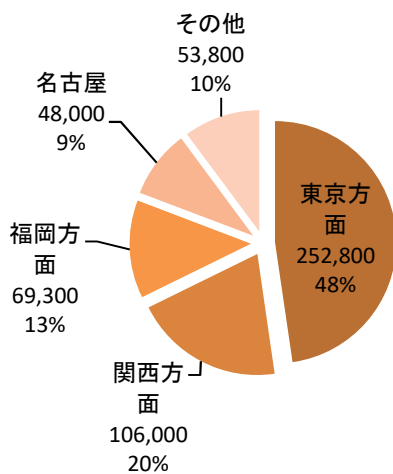
※国内海路客2,900人を含む(鹿児島1,500人、横浜1,400人)

外国客 国籍別入域状況

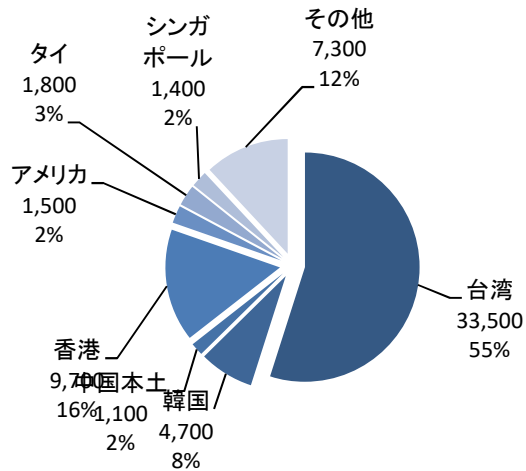
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	R1年度	R1年度	H30年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	33,500 人	33,500 人	58,700 人	△ 25,200人	△42.9%	54.9%
韓国	4,700 人	4,700 人	48,900 人	△ 44,200人	△90.4%	7.7%
中国本土	1,100 人	1,100 人	77,200 人	△ 76,100人	△98.6%	1.8%
香港	9,700 人	9,700 人	10,900 人	△ 1,200人	△11.0%	15.9%
アメリカ	1,500 人	1,500 人	2,600 人	△ 1,100人	△42.3%	2.5%
タイ	1,800 人	1,800 人	2,500 人	△ 700人	△28.0%	3.0%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	1,800 人	△ 400人	△22.2%	2.3%
その他	7,300 人	3,800 人	37,500 人	△ 30,200人	△80.5%	12.0%
合計	61,000 人	57,500 人	240,100 人	△ 179,100人	△74.6%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	29,200 人	29,200 人	△42.3%	56.5%	4,300 人	4,300 人	△46.9%	46.2%
韓国	4,700 人	4,700 人	△90.4%	9.1%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	1,100 人	1,100 人	△94.5%	2.1%	0 人	0 人	△100.0%	0.0%
香港	9,400 人	9,400 人	△9.6%	18.2%	300 人	300 人	△40.0%	3.2%
アメリカ	1,100 人	1,100 人	△21.4%	2.1%	400 人	400 人	△66.7%	4.3%
タイ	1,800 人	1,800 人	△25.0%	3.5%	0 人	0 人	△100.0%	0.0%
シンガポール	1,400 人	1,400 人	△22.2%	2.7%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,000 人	3,000 人	△6.3%	5.8%	4,300 人	800 人	△87.5%	46.2%
合計	51,700 人	51,700 人	△62.8%	100.0%	9,300 人	5,800 人	△90.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生による団体旅行のキャンセルや旅行自粛の動きがあったこと等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きや各種イベントの中止に加え、航空路線が減便になっていること等から、厳しい状況が予想される。

大阪

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きが懸念されたものの、前年同月より航空会社の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きや各種イベントの中止に加え、航空路線が減便になっていること等から、厳しい状況が予想される。

福岡

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生による団体旅行のキャンセルや旅行自粛の動きがあったこと等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きや各種イベントの中止に加え、航空路線が減便になっていること等から、厳しい状況が予想される。

名古屋

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生による団体旅行のキャンセルや旅行自粛の動きがあったこと等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による旅行自粛の動きや各種イベントの中止に加え、航空路線が減便になっていること等から、厳しい状況が予想される。

台湾

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う訪日旅行自粛の動きや、クルーズ船の寄港回数の減少等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、日本への渡航警戒レベルの引き上げ等から、大幅な減少が予想される。

韓国

2月は、日韓情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便等から、前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の流行による航空路線の大幅減や日本への入国制限等から、大幅な減少が予想される。

中国本土

2月は、新型コロナウイルス感染症の流行による団体旅行等の販売が禁止されたことに加え、航空路線の大幅減やクルーズ船の運行停止等から、前年を大きく下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の流行による航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、日本への入国制限等から、大幅な減少が予想される。

香港

2月は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う訪日旅行自粛の動きや航空路線の減便等から前年を下回った。

3月は、新型コロナウイルス感染症の発生による航空路線の大幅減やクルーズ船の運航停止、日本への渡航制限等から、大幅な減少が予想される。